

3-6 多極分散型社会の堅持（栄地域）

生産機能と流通機能が集積する新たな工業流通団地を「栄地域」に造成するとともに、働く人が子育てしやすく仕事と生活の調和がとれた住みやすいまちとして、新たな住宅団地を造成するもの



工業流通団地造成事業

【予算額】148,430千円

債務負担行為(H30~H32)限度額148,430千円
(県央土地開発公社の資金借入先に対する債務保証)

栄スマートIC周辺に整備予定の新たな生産拠点となる工業流通団地について、進出希望企業との調整を行いながら、企業のニーズに合致した整備を進めるもの



新たな就業・定住の場の確保
による若年層の転入促進

工業流通団地・住宅団地の造成

ものづくりのまちとしての
優位性の確保

住宅団地造成事業

【予算額】442,092千円

債務負担行為(H30)限度額442,092千円
(県央土地開発公社の資金借入先に対する債務保証)

帯織駅前整備する新たな住宅団地について、造成工事の実施と分譲に向けた情報発信などを行うもの

